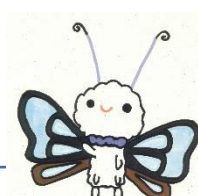




東幡豆小学校



「アギくん」

令和4年1月27日生

羽根の性標

甘い蜜（ヒヨドリバナ）

マラソン（2000km以上飛べる）

ほんわり癒し系。たまに毒舌

どこでも寝られる。海の上

で寝たことも。

←名前→

←生年月日→

←チャームポイント→

←好きな食べ物→

←趣味→

←性格→

←特技→

「アサちゃん」

令和4年1月27日生

首のモコモコ

甘い蜜（フジバカマ）

旅行（日本縦断）

しっかり者。だがひどい方向音痴

風に乗って気持ちよく飛ぶこと。

東幡豆小学校には「渡りをする蝶」のアサギマダラが飛来することがあります。

※「アサちゃん」「アギくん」は東幡豆小学校公認キャラクターです。

テーマ「大好き東幡豆」 海・山・自然がいっぱい

テーマについて

- (1) 愛知こどもの国や地元の協力団体と連携し、東幡豆の豊かな自然とのふれあいを通して、故郷を愛し大切にしようとする心を育てる活動を行う。
- (2) 小規模校である良さを活かし、体験活動や子ども同士のかかわり合いを大切にしたい教育活動を展開する。

活 動 内 容

1 竹林整備〔愛知こどもの国〕

愛知こどもの国の敷地は広大である。そのため職員だけでは手入れが行き届かない面積が広がってきている。そこで地元の本校が、令和6年度より竹林整備の手伝いに参加させていただくことになった。令和8年度も4月に4～6年で竹林整備に出向いた。3年目となり、タケノコの掘り方も上手になってきている。



【愛知こどもの国の竹林にて整備作業をする様子】

2 海の環境を知る[トンボロ干潟]

右の写真は東幡豆海岸、前島と沖島である。干潮時に陸地と島の間が砂州でつながり、歩いて渡れるようになる自然現象を「トンボロ現象」と呼ぶことから、この干潟を「トンボロ干潟」と言う。



本年度も5月に東幡豆漁協の方に協力していただいて生物の観察に出かけた。



【三河湾の生物の観察と探索】

現在の三河湾は海水浴場への対応のため、水の透明度が高くなっている反面、生物にとっての栄養状態が悪く、数や種類が激減していることを教えてもらった。

今年もマテガイを捕まえる試みをしたが捕まえることはできなかった。マテガイもここ十数年でほとんどいなくなっていることを再確認した。

3 素敵な三河湾[三河湾クルーズ] 於:西浦マリーナ



【クルーズ船に乗って】



【船上より東幡豆を望む】

東幡豆小学校では、5年生が2学期に「三河湾クルーズ体験」を行っている。西浦マリーナから乗船し、東幡豆と西浦を船上から見る。知多半島や渥美半島を遠くに見ることもでき、自然豊かなふるさとを満喫できる活動である。

4 スケート体験&卒業記念植樹[愛知こどもの国]

卒業間近の6年生が2月に愛知こどもの国でスケート体験と記念植樹を行っている。昨年度は「広報にしお」でも紹介してもらった。スケート体験後、卒業記念として4本のはなももの苗木を愛知こどもの国のあさひが丘の斜面に植える。「東幡豆の地に根を張る」という意味がある。代々受け継がれている伝統行事である。